

建築界の偉觀、歌舞伎座全景

歌舞伎座（東京市京橋區木挽町所在）

構造は鐵骨鐵筋コンクリート

地下室も五層

様式は純日本桃山式、細部は近代式

一階二階は椅子席、三階及び一、二階の兩側は座席

四階は一幕見

總て階段を廣く充分にしてある

建物平坪は九百坪

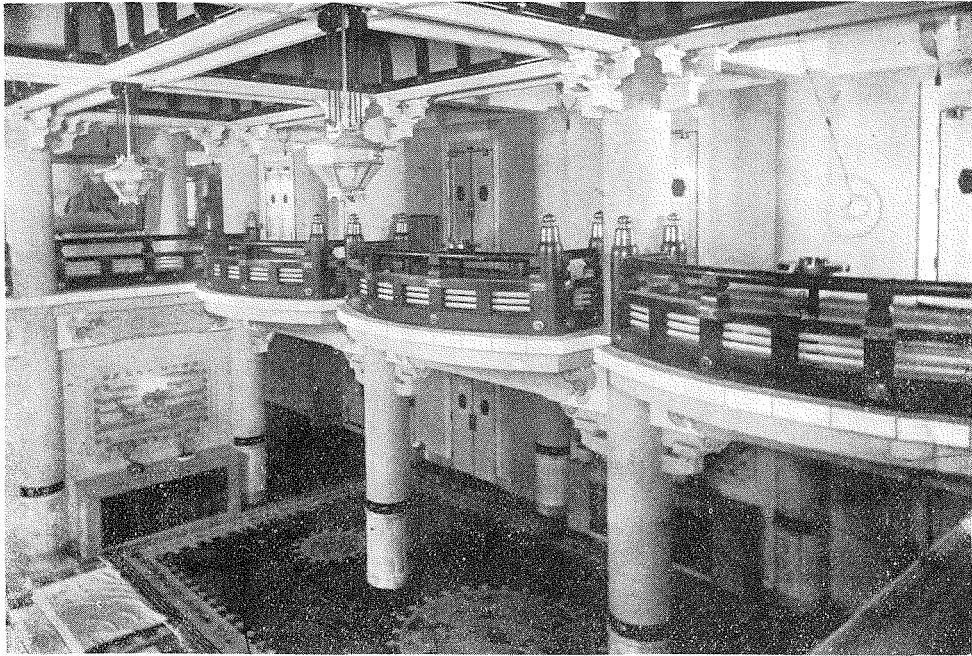
屋根は地上九十六尺

舞臺の幕ズリ九十尺五寸、高二十尺五寸

廻り舞臺直徑十間にして八尺の蛇の目あり、(蛇の目とは二重廻りに出來てる事)

工費約貳百七十萬圓

大正十一年五月一日地鎮祭十二年五月二十三日上棟式後九月一日の大災害に遇ひ十三年末に漸く竣工した、而して本年一月四日に盛大なる開場式をやつて災後第一の氣を吐いたのである



歌舞伎座正面玄関

記者は本建築の設計者たる岡田氏を訪ね、施工者たる大林組を訪ね、又其他數氏を訪ねて此の工事中の寫眞を探したが遂に得られなかつた。

記者は此二葉の寫眞さ以上の説明を歌舞伎座の事務所から得ました、次號には此の偉大なる建築を一の工事に紹介出来る事を信じます。